

# 健康と光線

発行所

〒153  
東京都目黒区目黒  
4-6-18

サナモア中央診療所内

サナモア光線協会

年4回発行

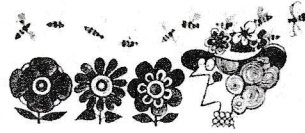
会費 年500円

電話 東京(03)

793-5281

712-5322

## 花粉症とは…



木の芽時になると花粉症のため、眼が真っ赤に充血して止めどもなく涙が出たり、鼻紙がごみ箱に溢れる程の鼻水に苦しめられたり、引切り無しのくしゃみに悩まされる人がいます。

花粉症は、花粉が各組織、特に粘膜と接触して、抗原・抗体反応を起こしたため、アレルギー性疾患(アトピー性疾患)です。従って、広い範囲で観察される花粉症の原因となる花粉は、強い抗原性を持ち、大量に放出され、風によって遠くまで飛ぶ、風媒花の花粉です。例えば、杉の花粉が有名なものに、松の花粉が話題にならないのは、松の抗原性が弱いからです。なお、虫媒花は粘着性のため遠くまで飛びまぜるので、限られた地方でのみ原因になります。

さて、これらの条件から、花粉症は起因花粉が放出される期間に限って症状を出す、即ち季節的発症を示し、外部環境と接する眼、鼻、咽喉頭、気管支などの粘膜にアレルギー性炎症(アトピー性炎症)を起こす病気と言え換えることが出来ます。

### アレルギー体質

(アトピー性素因)

花粉は、そこらを飛んでいます。でも、花粉症に罹らない人は沢山います。反面、稀には花粉症だけで済まずに、花粉症の季節性に一致する喘息を伴う花粉喘息と言いますが、運の悪い人もいます。

これを説明する時によく使われる表現が、アレルギー体質乃至アトピー性素因原因説です。この言葉は、その内容の便利さ

### 抗原は無数

世の中に抗原になり得るものは無数にあります。そして、生物は抗原に接すると抗体を作る仕組を持っています。(予防注射

と曖昧さのため乱用されていますので誰でも知っていますが、分るのは全て発病後の状態についてであって、何故アレルギー体質になるのか、アトピー性素因とは健康人と何処が違うか、考えることと分らないことだらけなのです。

物は

- (1)、木本：スギ、ヒノキ、シラカンバ等。
- (2)、イネ科草本：牧草、枯草等三百種以上
- (3)、キク科草本：ブタクサ、ヨモギ、除虫菊等
- (4)、その他：カナムグラ等

などが知られています。  
体質改善は薬で可能か

## 花粉症の光線療法

### アレルギー性疾患と体質

サナモア光線協会  
サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

幾つかの理論に基づいて、体質改善を目指した薬があります。しかし、その効果は不確実なため、一時に比べるとむしろ廃れた感否めません。

### 減感作療法

体質改善療法に変わって、現在最も広く用いられています。減感作療法の歴史は可成り古

従って、起因抗原が明らか場合合には可成りの効果を期待できます。でも実際は、減感作の程度に個人差があり、抗原も多種多様で総てを把握することは殆んど不可能で、その上、注射の効果は止めればなくなることから、期待した程の成果はないのが実情です。

### 対症療法

抗ヒスタミン剤を始め、対症療法剤は、副作用を無視すれば、ある程度効くことは間違いありません。勿論、効果はその場限りで、止めれば再発します。(六面参照)

### 光線療法

アレルギー(アトピー)性疾患と言っても、花粉症になったり、喘息になったり、皮膚病になったり勝手気儘です。また季節性に欠ける喘息患者が花粉症を併発したり、皮膚病と花粉症が合併することも珍しくありません。ですから、根本的には病気に負けない身体造りしかないのではないのでしょうか。

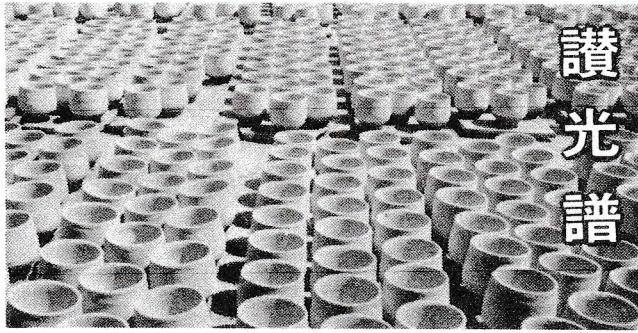
最近の経験でも、骨折や痔の治療で光線療法を続けていたら例年悩まされる花粉症を殆んど知らずに済んだ人がいます。誰れしも症状がないと光線を掛けるのも面倒なものです。日頃の蓄積が重要なのです。





宇都宮義真撮影

「春の庭先」― 苺子 ―



讃光譜



## 光線は

### なぜ必要か

皆さんも御存知の様に、日蔭の草木はどんなによい肥料をやっても、専門家が死力をつくして手入れをしても、生長がよくなく、只だ光線が不足したという理由のみで段々と枯れて行くのであります。

光線はすべての生きる力、即ち生命力の根源でありますから、之が不足をすると人間は勿論、如何なる生物も助けることが出来ません。

併し世の中には、この厳然たる鉄則の分らぬ方が案外多く、病弱の原因をビタミンやカルシウムやホルモン等の欠乏だと思ひ、薬だ注射だ栄養だと騒いで、金銭と時間とを浪費し全く奔命につかれている人も少なくなく、極端になると、薬以外のものは何んでも迷信かなんぞの様に心得ている同情すべき人のあることは驚かざるを得ません。

日蔭の草木を枯死せしめぬためには、肥料よりも光線が必要であると同様に、生命力のない身体、言葉を変えて言えば吸収力のない身体に、高価な薬や栄養を与えることは、底のない器に財宝を入れる様なもので頗る考へのないことであります。

## 日蔭の草木は なぜ枯れる？

宇都宮 義真

光線には、粗食を滋養と化せしむる不可思議なる作用がありますから、之によって自分の体内には求めずして自然にホルモンもビタミンもカルシウムも、その他一切の必要なものが無限に生成せられ、亭々として天

を摩する大木の如き強健体も之によって始めて得らるのであります。

## 健建と長寿

誰れもが健康で長寿を保つことを望んでいます。それには、計画をし準備を怠らない様にしなければなりません。何事も計画的に実行した場合と、無計画になりゆきに任せておいた場合とは非常な差が生ずるのであります。

## 長寿と光線療法

長寿計画は、生きている間は、既におそいと言うことはありません。この計画に光線療法を加えて、一年でも二年でも、五年でも十年でも、健康で長寿を保つための努力をして下さい。

最近の統計を見ると(昭和39年)日本の零才の人の平均余命表は、年々伸びています。併し、他人の寿命が伸びたのを喜んでいても、自分の寿命は伸びません。人の寿命には個人差があつて、案外長生きしそうな人が若死にしたり、若死にしようのない人が長生きしたりするが、本人の普段の心がけでも寿命を延ばすことができるのであります。不養生をして健康問題に無関心な人は、除々に自殺をしているようなものであり、一時の苦痛をより要約した。

「光線と熱」昭和12年6月25日発行  
― 日蔭の草木はなぜ枯れる ―

「健康と光線」昭和39年7月5日発行  
― 長寿計画が無策自殺か ―



(病) 気の成因を研究する際に、その病気を再現し治癒し得る方法が発見できれば一般的には正しく病因を究明したことになる。この観点からクル病の原因論についての論争を顧みると、ハルドシンスキーの光線欠乏説にしても、メランビーの栄養欠乏説を進展させたマックコラムの説を進行させたマックコラムのビタミンD欠乏説にしてもクル病を作り治したのであるから正しいことになり、そのまま認めれば、クル病には原因が二つあることになってしまつたのである。言い換えれば、次の命題は、光線欠乏性クル病と栄養(ビタミンD)欠乏性クル病と同じか違うか、同じとすれば真の原因はどちらかを説明することにあった。

結論から言えば、既に本稿でも触れた様に、この両学説は同じことを追求していたことが明らかになるのであるが、ここで改めてやや詳しく紆余曲折を経た道程を振り返ることで光線欠乏説への理解を高めると共に、ビタミンDは栄養素と言うより、薬と言うべき理由が納得できるはずである。

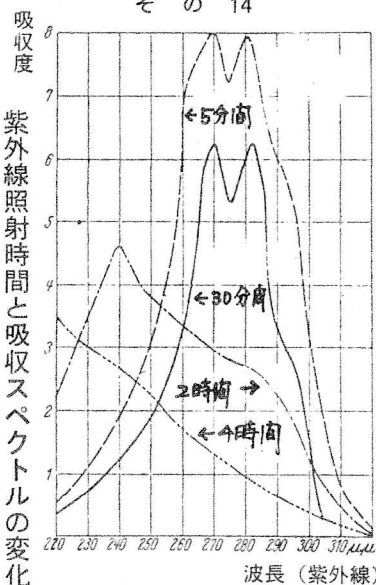
まだ分らなかった。

(二) の問題の解決の切っ掛けは一九二四年にヘスやステインボックによって、ある種の食品に紫外線を照射すると、その食品が抗クル病作用を獲得する事実が見い出されたことにある。既ち、ヘスは亜麻や綿の種子で、ステインボックらはベーコン、コーン油、ヤシ油で、紫外線を照射すると抗クル病作用を具有することを報告したのである。そして、この興味ある事実は、医学者、化学者の関心を呼び、ゴールドブラットは綿花油で、コウエルは乳汁で、ウィンスストックはホウレン草でと次々に被照射食品が抗クル病効果を持つことが突き止められた。

## 応用光線療法学 (17)

### □ ビタミンDの作用 □

その 14



紫外線照射時間と吸収スペクトルの変化

医学博士  
宇都宮 光明

同一であることが証明されるなら、紫外線がビタミンDを作ることになり、両学説は合致するのである。

(三) ところが、アダムによって、当時既に治療に使われていた肝油に紫外線を照射すると、その抗クル病効果が高まるどころか、逆に効力を失うことが報告されたのである。その上、この衝撃的な事実は、被照射食品でも長時間照射で失効することで確かめられた。

(四) さて、照射により抗クル病作用を持つ植物性ならびに動物性食品の化学的な通性についても並行して研究されていた。まず、ステインボックらによって、当該物質としてコレステロールが考えられたが、一九二二年に、ツッカー、バツペンハイマー、バーネットらは、コレステロールと共同的に作用するステロールがその作用を営むとの見解を発表した。

次いで、一九二五年に、ヘス、ワインスック、ヘルマンらは、ステロールに紫外線を照射すると抗クル病作用を持つことを確認し、一九二六年には、ローゼンハイム、ウェブスターが、被照射エルゴステロールの抗クル病効果を発見、同年、ヘス、ウィングウスは、追試して、その事実を証明したのである。

(五) これまでの研究報告から、

射で吸収の増加を認めるが、これは短時間照射生産物により惹起された変化である。そして、30分照射後の吸収曲線は、ビタミンDのそれと殆んど一致するのである。しかし、2時間の照射を行うと、所謂長時間照射生産物の影響で、吸収度に著しい変化を起し、4時間照射後には、最速吸収度からビタミンDとの関係を推測することは全く不可能になる。

既ち、エルゴステロールにしろビタミンDにしろ、紫外線照射時間の長短によって生産物は異なり、特に長時間照射で抗クル病効果を失なう理由は図からも自ずと明らかである。

(六) エルゴステロールは、動物界に広く分布している物質である。地上の生命体は、紫外線の助けを借りて必要量のビタミンDを作り利用している。本文で述べた研究報告でも、ビタミンD欠乏症の真の原因が光線欠乏にあることが示されている。自然界の仕組みは、光線の関与なしにはビタミンDはできないことを現しており、原因を食品に求めることの疑りは明白である。

もし、タラ肝油やビタミンD添加牛乳の如き食品や、合成ビタミンD剤で、ビタミンD欠乏症の予防や治療をするとしてたら、過剰症の問題もあつた大変に難問に属する事柄になる。然るに現行の医師も含めて光線欠乏に対する認識不足は眼を覆うばかりである。

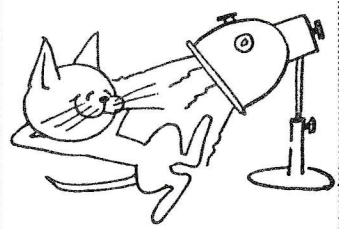


症例 6才女児  
 症状 昨年の11月

病院では、脳圧を下げるため  
脳の水を取る手術を受けた。医  
師は腫瘍の手術も希望したが、  
手術が成功する可能性は低く、  
長く生きることが期待出来ない  
と言われたため、知人の紹介で  
来所した。

来所時、患児は全身を殆んど動かさず、目は白目で植物人間の様であつた。また、胸骨が普通児より大きく、足も細く、背もやや低く、首はしっかりすわらず、クル病に似ている印象を受けた。

療法経過 ACカーボンで腹部、膝下、足裏、膝裏、腰、背、小脳(集光器一号)、各5分を隔日に照射したところ、二回目には、首がすわり黒目が出て笑うようになったのである。このあまりの速効に、親は勿論、



## — 治 驗 例 報 告 —

私も驚いた。三回目には、右手でパンを食べ、鉛筆を持って人形の絵を書き、居合せた患者を吃驚させた。四回目には、まだ口はきけないが、「嬉しいか」と聞くとう首を振るようになった。それ以後は自宅治療にして約一ヶ月経過したが、今は自分で食事をして立って歩くようになった。

☆ 右眼外傷

症例 27才 男性  
症状 テニスをしていた

時、相手のサーフが右目に当り、激痛に襲われる。直ぐにＢＢで30分掛けてから、眼科で診察を受けたところ、黒目に混濁があり失明の恐れありと言われたと連絡があった。

療法経過 光線の掛け方につ

き、まず眼部はB Bで一号集光器を使って10分、次に二号をつけ右眼に30分、小脳10分を日に二、三回、腹部にはA Aで一日一回5分照射するように指示した。

本例は結婚をひかえていて心配したが、一カ月で全快、無事

愛用者だより

☆健康な毎日

福岡県 平田美智子  
今年六三才になりますが、慢性喉頭炎、慢性胃炎の病歴がありますので、丁度七年前からサナモアのお世話になり、健康を維持しております。

私なりにサカモアの効果をあげてみますと、①車酔をしなくなった。②カゼをひかなくなった。③足に水がたまり、

挙式した。  
 神戸市 ウェノ光線療法  
 上野 貞子氏報告  
 TEL 〇七八―三三二―一三五八

☆  
耳鳴り

症例 74才 女性  
症状 頭の芯が轟々と鳴り熟

睡出来ない状態が40年此の方統  
いていて、時には苦しくて死ぬ  
のではないかと心配することす  
らある。後頭部は禿けており、  
首から肩胛部にかけて、ここ  
ちに凝ってすじばつてゐる。

また、患者は右眼に視力障害があり、人が影法師のように見えると言う。左眼は不自由ない。症状が出てから40年間は、色々な治療を受けたり、信仰にもすがって見たが、どうしても治らないので来所した。

療法経過 このような長い病歴を持つ患者の場合には、根気よく継続することを納得して貰った上で治療を始めることが大切である。

本例では、足裏、足首、膝、腰、腹、背、肩、後頭部、首の両側、耳の後の骨部（変形あり）

痛みましたか。これを良く再発しません。改めてサ

毎日、一ヶ所に5分〜10分

度、合計一時間位照射していただきますので、私にとってサナモアは命の綱と思っています。持病が悪化せず、健康な毎日を送らせていただき、深く感謝いたしております。

☆十五才も若く  
みられる

千葉県 鈴木美代子

頭頂部、両眼部などに、熱くならしめると言った工合で、本人の気持ちのよい間照射した。照射を始めて二〜三カ月で、耳鳴りの音が段々小さくなり、右眼は私の顔がちゃんと見えるようになった。そこで、今後一年間は治療を続ける約束をした。自宅療法に切り替えたが、五〜六カ月後には40年間の苦しみから殆んど解放され、見誤る程元氣になられたのである。この間のカーボンの組合せは、A、A、B、C、B、C、B、Dである。（40年来的業病でも、要を得た照射を根気よく続ければ全快する有様を目の当たりに見る事が出来ました。）

## ☆ 象皮病

(フィラリア症の疑)

症例 58才女性  
 症状 左腰から下肢、足首まで腫脹、硬化、肥厚を認め、象の皮膚に似ている。  
 本例は、一年前に沖繩旅行に

知人から紹介されて光線療法をはじめて足かけ四年になります。サナモアは我家の主治医で家族共々大変心強く存じております。私は、足の具合が悪く（廃用性萎縮）使用をはじめたのですが、冬は力ぜも引かず、体調は良く、他人はお世辞にも十五才は若いと申します。これから何年かかかるか、足の方も良くなるまで、とにかく続けてまいりたいと存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

行った際、蚊に刺された後に、悪寒を伴って40度まで熱著しい、下肢が赤く腫れあがり、著しい疼痛と刺された所の痒みに苦しめられたが、病院で治療を受け、良くなった。その後皮膚には浮腫みがあり、炎症発作は反復し、皮膚が肥厚して来たため、色々と病院を変えて診察を受けたが、フィラリアは検出されず、原因は確定できなかった。治療は難治と言われるだけで効果もあがらないので、当院に通院することになった。

病歴から、フィラリア（糸状虫）症による象皮症を疑い、57年5月過治療を始めた。

療法経過 最初は、肛門部30分、腰腹各10分、患部（左下

肢）前後から各15分、計80分  
 Aで5分間照射した。が、何ん  
 の反応もないので、6日目より  
 Bに替えたところ、15日目頃  
 より段々と浮腫みがとれてきた。  
 そして、6月7日と治療を重ね  
 るにつれて、下肢と3センチ、  
 3センチと明瞭に細くなった。  
 8月からAに替えて10月まで  
 治療したが、B使用時の方が  
 効果があつたので、11月からは  
 再びBを使い、特に患部へは  
 照射時間を長くして、時には結  
 果、患者の病状は著しい改善を  
 示し、下肢の左右差もなくなり、  
 58年2月23日をもつて完治した  
 （治療に要した全経過の10ヶ月  
 間は長かったが、患者さんも当  
 院の注意をよく守り、長時間照射  
 に伴う疲れにも耐えて下さいま  
 した。光線療法をやつてよかつ  
 たらと、患者と共に幸せでた。  
 なお、長時間照射の場合、照  
 射後の疲れをとるため食事をして  
 貰つています。）

川崎市 東京光線治療院  
 海渡 一二三氏報告

TEL ○四四一七二一五〇六七



## 動脈硬化症と血液循環

誰れしも「老いる」ことから逃れることは出来ません。この「老い」に、動脈硬化症に伴う末梢血行障害がかかわっていることに異論をさしはさむ余地はない筈です。

特に、食餌や生活様式の変化、例えば、食べ物の欧米化や、運動量の減少や、光線の欠乏は、この傾向に一層拍車をかけています。

卑近な例をあげれば、その日の疲れが年令と共に抜けにくくなるのも、動脈硬化性変化のために末梢血行障害を起こし、物質代謝を円滑に運ぶなくなることが一因となります。また、脳血栓、心筋梗塞など、成人病の予後を決める重篤な合併症は、この一連の変化の終末像と言えます。

この動脈硬化症に及ぼす光線の作用について、主に下肢の動脈に硬化性変化を起し、動脈腔の狭窄ないし閉塞を生じ、歩行障害をきたす「閉塞性動脈硬化症」の症例を通して考えてみます。

## 間歇性跛行

症例 Y・O 63才 男性  
(風呂屋)

起病経過 昭和56年の3月頃数百米歩くと、ふくらはぎが痛

くなり、そのまま無理して歩き続けると痛みは足全体に広がり、どうしても休まないと歩けなくなるので困り果てていたところ、知人のOさんから光線療法を薦められ相談に来たのが、光線療法に馴染む切っ掛けになった方です。

このように、短距離の歩行によって痛みを起し歩行できなくなるが、休息によって回復し再び歩行可能になる現象を、間歇性跛行と言い、痛みの原因は動脈閉塞のために運動時に必要な血流量の増加を補えずに酸素不足を起したためで、虚血症状の一つです。

なおY・Oさんは、以前から高血圧症と高コレステロール血症(家族性?)の診断で、近医からの薬を服用しています。

## 朝晩足の裏にかける

先日、偶々Y・Oさんが、知人を紹介方々来所されました。その時の話ですと、2年前に初めて会った時、私は次の様に言っていたそうです。

「光線を掛ければ、血の巡りがよくなりますから、朝晩足の裏だけでも掛けておけば、掛けないよりは得でしょう。」これだけではあまりに簡単過ぎますので、もう少し詳しく解説しましょう。

## 危険因子の治療

閉塞性動脈硬化症は、全身性動脈硬化症の一分症です。この動脈硬化症を促す因子を、危険

因子と言いますが、Y・Oさんの場合は、高血圧症や、高コレステロール血症が該当しますが、光線療法を併用すれば、光線には血圧を降げる効果と共に、脂質代謝面でコレステロールを低下させる作用がありますので、「健康と光線」57・4・1発刊、成人病合併症と光線療法、脂質代謝、血液循環を改善―参照―危険因子を除去するのを補助します。

なお糖尿病は、危険因子として、重篤な影響を与える疾患ですが、幸いなことにY・Oさんにはありません。

脈(心臓)、腎動脈に起きる合併症、即ち脳血栓、心筋梗塞、心不全、腎不全などを起しやすくなっていることです。

従って、合併症の予防には、全身性疾患としての対策が大切です。この点からも、血管を拡張し、血液循環を促す光線療法を使用すること、本症を管理治療する上で有効に作用することに疑問の余地はありません。

## 現代医学の治療法

Y・Oさんは、某国立病院に通院しながら、光線療法を続けております。ここで、病院での危険因子の有無などによって、各人程度の違いはあるとしても、加齢に伴い動脈硬化が進行することは避けられません。従って、慢性進行性の動脈閉塞性疾患のために、末梢血行障害を起す可能性は万人にあり、かつ高令者においてその頻度を増すことは明らかです。

## 肝要な予防策

サナモア中央診療所

区学博士 宇都宮 光明

## 年々増加傾向にある末梢血行障害

## 閉塞性動脈硬化症の光線療法

## 合併症の予防

危険因子を除く治療が、合併症の予防に役立つことは自明の理です。

閉塞性動脈硬化症の診断は、偶々症状を下肢に認める場合に

つきますが、症状も単に冷感やシビレ感のみの場合から、Y・Oさんの如く間歇性跛行を訴える

様になったり、更に進行すると、安静時にも疼痛が持続したり、患肢に潰瘍や壊死を起す

ようになり、特に留意して頂き度い点は、患者の予後を

直接支配する、脳動脈、冠状動

治療について簡単に触れておきます。

病院の治療法は、全身管理を目的とした薬物療法と、局所症状の改善を目的とした手術療法とに大別できます。

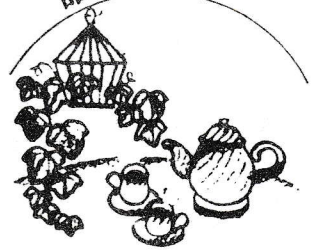
手術療法は、閉塞部位が同定でき、かつ血栓なり栓塞が除去し得る場合には除去術を行い血流を再開しますが、既に壊死に陥った時には肢切断術の適応になります。しかし、手術療法の効果は、局所症状の改善だけで、全身状態の管理には、血管拡張剤、血小板機能抑制剤などの薬物療法が使われます。

この一般的注意の根幹は意外に平凡です。即ち、食事はバランスを考え、禁煙する等々、つとに皆様方が御存知のことを実行すればよいのです。そして光線照射をこれに加れば、光線の代謝機能を正し、血管を拡張し、血流をよくする作用を通して、予想以上の効果をもたらすのです。

予防策は、危険因子の治療と、日常の養生の二面から考える必要があります。高血圧や糖尿病の如き危険因子の管理、除去には、投薬治療の必要な場合もありますが、日常の一般的注意の重要性を忘れては、画龍点睛を欠くこととなります。



## 話のラウンジ



コーヒーが花粉症に効く？

花粉などのアレルギー起因物質に出会うと、くしゃみ、鼻水、鼻つまり、喘鳴、全身倦怠感などの症状に苦しみ続けた一医学生が、偶々頭痛で鎮痛剤を飲んだところ、アレルギー症状が軽快したことに気付き、これをヒントに自分を被験者にして研究を進め、カフェインに抗アレルギー効果があることを示唆する成績を得て、医学雑誌「ランセット」に発表していますのでご紹介します。

ところで、シャピロ君は、鎮痛剤に含まれる花粉症に対する有効成分は、キサンチンに属するカフェインではないかと見当をつけ、まず8個のカフェセルに一四〇mgのカフェインを入れ、別の8個のカフェセルには砂糖を詰め、どちらを飲んだか分らないようにして、毎朝一錠ずつ16日間服用し、症状に与える影響を観察しました。この方法は、二重盲検試験と言われ、薬剤の効果を調べる時に使われます。さて、その結果ですが、カフェインのカフェセルを服用した日は症状が軽くて済むのに、砂糖入りの偽薬では一連の症状に変化がないことから、カフェインの有効なことを指摘しその上、不快な副作用もないと述べています。

シャピロ君は、カフェインと同じキサンチンに属するテオフィリンが、昔から喘息の治療に使われていることから、カフェインも花粉症を始めアレルギー性疾患に有効なのかも知れないとして、自分の体験を発表したのです。

これまで、アレルギー疾患にカフェインは使われていませんので、効果の程は保証しかねますが、コーヒー一杯には一〇〇〜二〇〇mgのカフェインが含ま

れていますので、花粉症に悩んでいる人は、朝の一杯が症状にどう影響するか研究してみてもいい。

## 目 黒 通 信

☆ 毎号、貴重な治験例を寄稿して下さる神戸の上野先生から、前号に掲載した重症筋無力症の途中経過の報告がありました。

☆ 一月の末に病院に見舞った時には、腕を下に動かすことができないようになっていて、本人も大変喜んでいました。

☆ 二月初め頃から、車椅子でリハビリに行くようになり、母親が喜んで報告にきました。

☆ 三月七日に来所した患者の友達は、手を振ったり口をきくようになったと報告してくれました。

☆ 同じく前号に掲載した、春日市、前田先生の大火傷の治療体験の記事中、半年後、四分の三は元の肌色になったと書くところ、当方のミスで四分の一としてしまいました。お詫びして訂正させて頂きます。

## サナモア



サナモア光線協会

趣意書

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物・手術に偏し、光線の効果についての一般の認識はなお十分と言わざるを得ません。

このため、人々の健康を願うと共に光線療法について、啓蒙・普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内に、サナモア光線協会を設立しました。

サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、会員相互の懇親・体験発表意見交換を通して、光線療法についての理解を深めるため「健康と光線」を季刊にて発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。  
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL (03) 七九三二五二八二  
七二一五三三三二